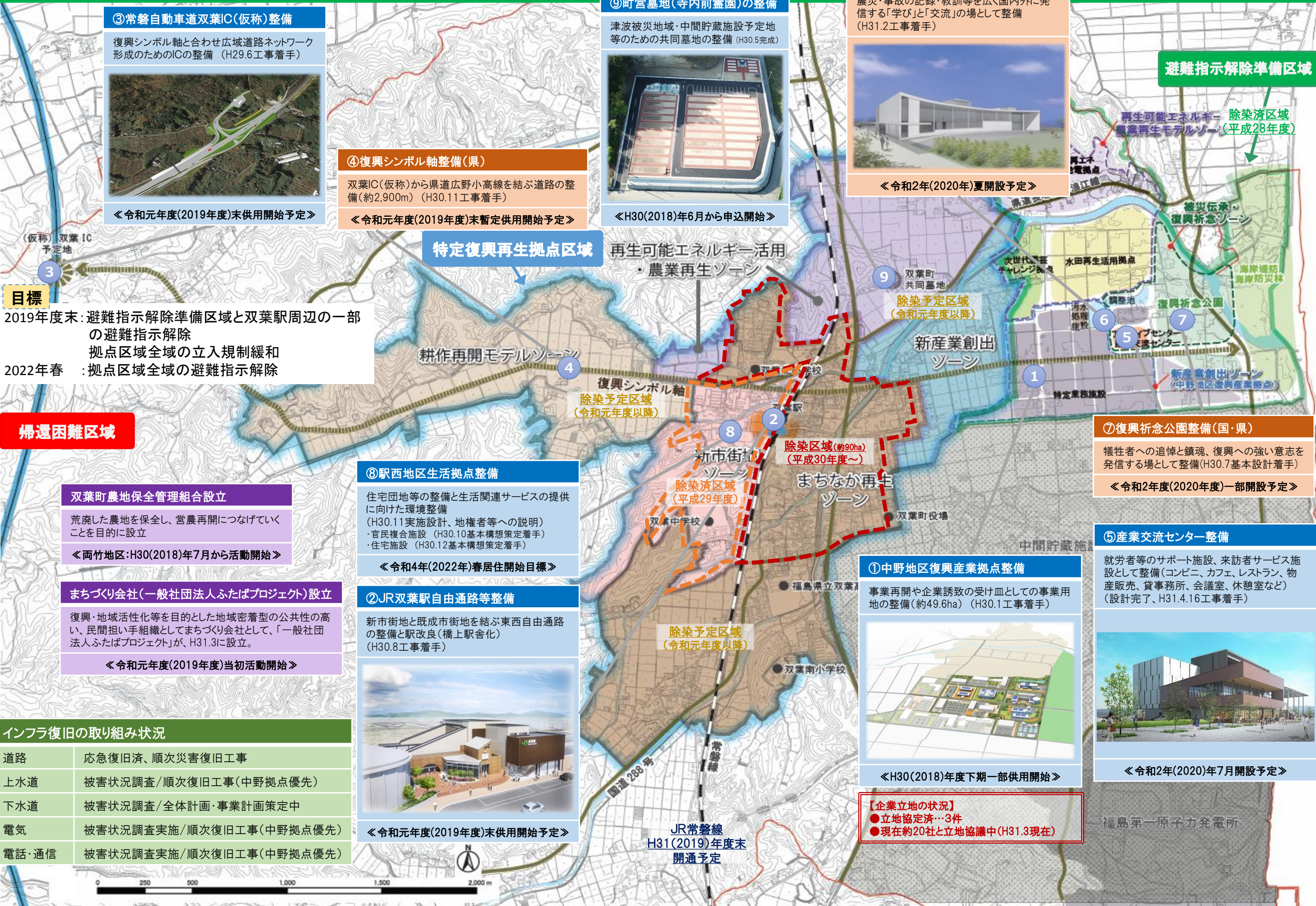


双葉町内の復興・復旧の取組状況 (平成31年4月23日時点)



③常磐自動車道双葉IC(仮称)整備

復興シンボル軸と合わせ広域道路ネットワーク形成のためのICの整備 (H29.6工事着手)



≪令和元年度(2019年度)末供用開始予定≫

④復興シンボル軸整備(県)

双葉IC(仮称)から県道広野小高線を結ぶ道路の整備(約2,900m) (H30.11工事着手)

≪令和元年度(2019年度)末暫定供用開始予定≫

⑨町営墓地(寺内前霊園)の整備

津波被災地域・中間貯蔵施設予定地等のための共同墓地の整備 (H30.5完成)



≪H30(2018)年6月から申込開始≫

⑥アーカイブ拠点施設整備(県)

震災・事故の記録・教訓等を広く国内外に発信する「学び」と「交流」の場として整備 (H31.2工事着手)



≪令和2年(2020年)夏開設予定≫

避難指示解除準備区域

再生可能エネルギー
農業再生モデルゾーン (平成28年度)

目標

2019年度末: 避難指示解除準備区域と双葉駅周辺の一部の避難指示解除
拠点区域全域の立入規制緩和

2022年春: 拠点区域全域の避難指示解除

帰還困難区域

双葉町農地保全管理組合設立

荒廃した農地を保全し、営農再開につなげていくことを目的に設立

≪両竹地区:H30(2018)年7月から活動開始≫

まちづくり会社(一般社団法人ふたばプロジェクト)設立

復興・地域活性化等を目的とした地域密着型の公共性の高い、民間担い手組織としてまちづくり会社として、「一般社団法人ふたばプロジェクト」が、H31.3に設立。

≪令和元年度(2019年度)当初活動開始≫

特定復興再生拠点区域

再生可能エネルギー活用
・農業再生ゾーン

耕作再開モデルゾーン

④

復興シンボル軸

除染予定区域 (令和元年度以降)

⑧

新市街地ゾーン

除染済区域 (平成29年度)

除染区域(約90ha) (平成30年度～)

まちなか再生ゾーン

②

新産業創出ゾーン

除染予定区域 (令和元年度以降)

⑨

双葉町共同墓地

除染予定区域 (令和元年度以降)

⑥

水田再生活用拠点

調整池

復興記念公園

⑤

産業交流センター

⑦

復興記念公園整備(国・県)

犠牲者への追悼と鎮魂、復興への強い意志を発信する場として整備(H30.7基本設計着手)

≪令和2年度(2020年度)一部開設予定≫

⑧駅西地区生活拠点整備

住宅団地等の整備と生活関連サービスの提供に向けた環境整備 (H30.11実施設計、地権者等への説明)
・官民複合施設 (H30.10基本構想策定着手)
・住宅施設 (H30.12基本構想策定着手)

≪令和4年(2022年)春居住開始目標≫

②JR双葉駅自由通路等整備

新市街地と既存市街地を結ぶ東西自由通路の整備と駅改良(橋上駅舎化) (H30.8工事着手)



≪令和元年度(2019年度)末供用開始予定≫

①中野地区復興産業拠点整備

事業再開や企業誘致の受け皿としての事業用地の整備(約49.6ha) (H30.1工事着手)



≪H30(2018)年度下期一部供用開始≫

⑤産業交流センター整備

就労者等のサポート施設、来訪者サービス施設として整備(コンビニ、カフェ、レストラン、物産販売、貸事務所、会議室、休憩室など) (設計完了、H31.4.16工事着手)



≪令和2年(2020年)7月開設予定≫

【企業立地の状況】

- 立地協定済…3件
- 現在約20社と立地協議中(H31.3現在)

福島第一原子力発電所

※掲載した画像は現時点での整備イメージを示したものです。